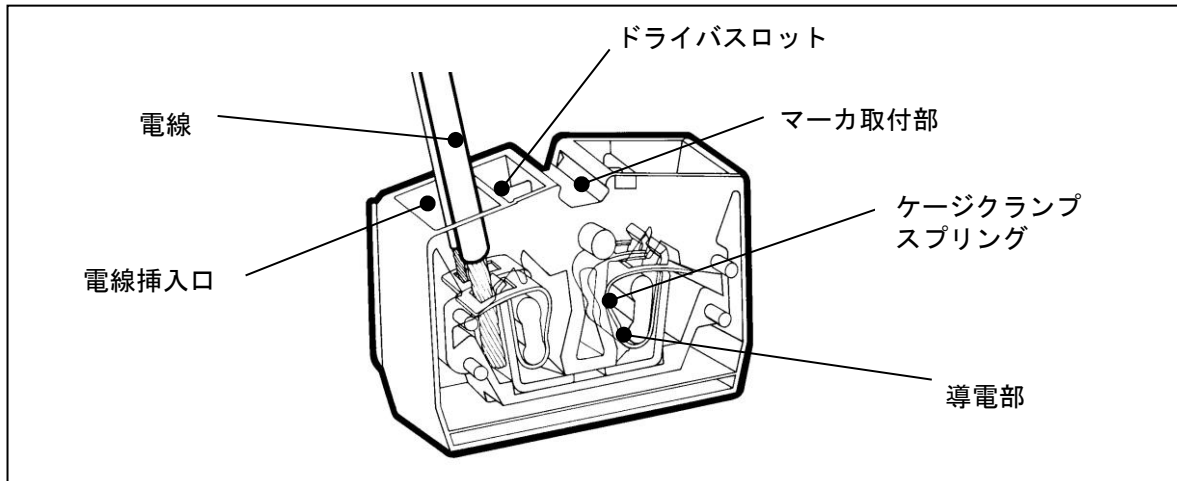


結線作業説明書

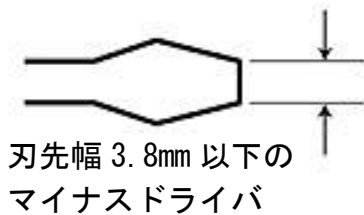
コンパクトタイプ端子ブロック / 端子台 264 シリーズ

■構造



■使用工具

◆必ず正しい工具をご使用ください。



- ① 210-720……標準型(欧州製)
- ② 210-120J ……標準型(国内製)
- ③ 210-657J ……ショート型

◆ワイヤストリッパは、むき長さが守れ、電線を傷つけないものをご使用ください。



弊社推奨商品

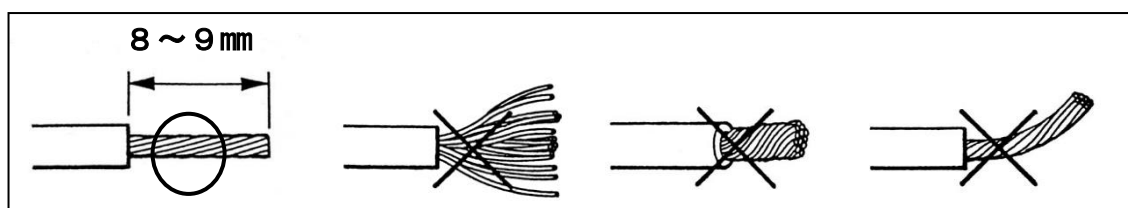
206-1125 (クイックストリップ バリオ)

……電線の切断と皮むきが一台で行えます。

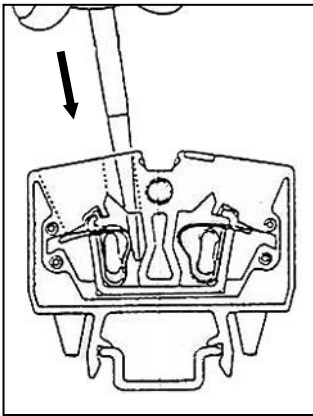
■電線のむき出し

電線は必ず指定の長さにむき出してください。

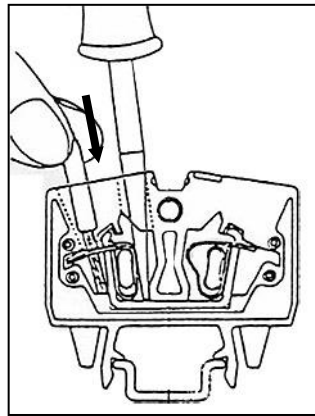
電線のバラケや曲がりがある場合は直してください。



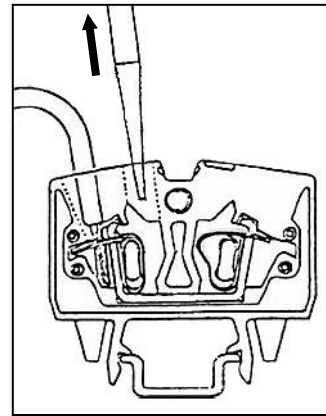
■電線の接続



① ドライバスロットに
ドライバを差し込み、
電線挿入口を開ける。



② 電線を奥までしっかり
入れる。

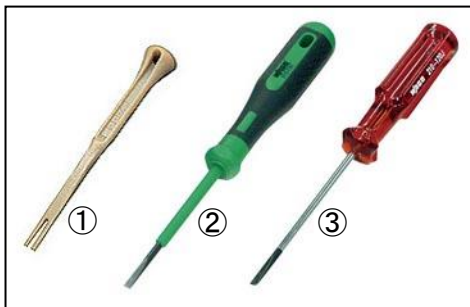


③ 電線が抜けないように
軽く押さえながらドラ
イバを抜く。

※原則として1つのクランピングユニットには1本の電線を接続してください。
(JIS 9960-1 (IEC 60204-1) 13.1.1 一般要求事項による。)

■264 シリーズ端子台へのジャンパ取り付け時の事項

1. 作業には必ず専用工具、または専用ドライバ(2本)をお使いください。



ジャンパ専用工具

①280-432

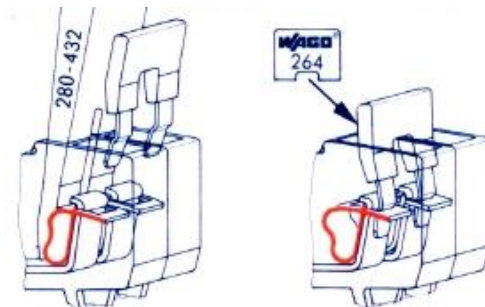
専用ドライバ (2本使用)

②210-720

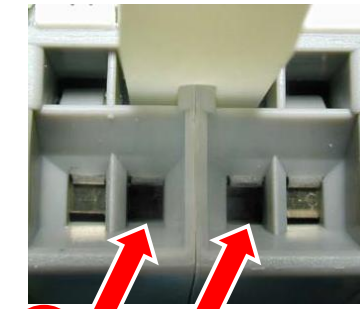
③210-120J

2. ジャンパは型番、WAGOロゴマークが内側(端子台の中央側)を向くように取り付けてください。

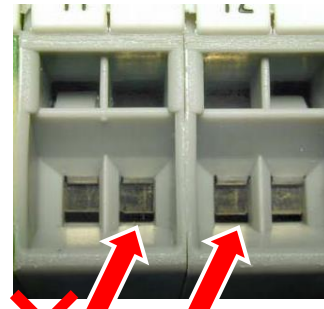
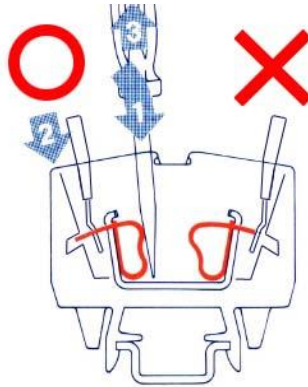
専用ジャンパ
型番 : 264-402
定格電流 : 16 A



3. ジャンパは、必ず電線挿入口を開けてから取り付けてください。
警告！ スプリングのすき間部に入れると、発熱の危険があります。



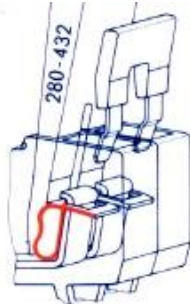
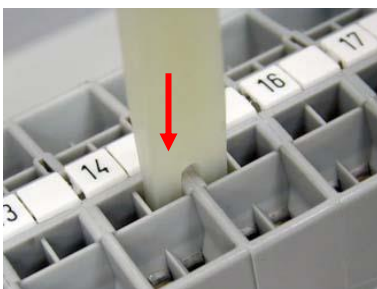
○ 工具で接続穴を開いて挿入して下さい。



○ このすき間には絶対に
 入れないで下さい。

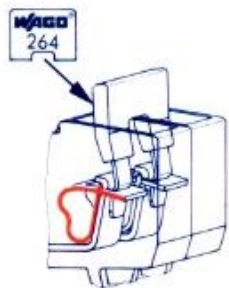
■ ジャンパ取り付け作業手順

1. 専用工具を端子台のスロットに深く差し込み、電線挿入口を開く。



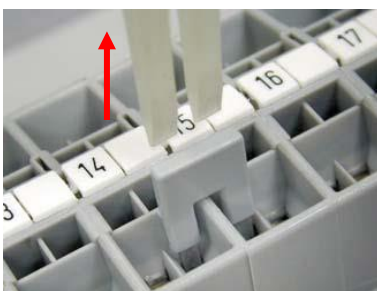
注意！
 工具は、奥までしっかりと入れ、電線挿入口が完全に開く事を確認して下さい。

2. 開いた挿入口にジャンパを入れる。



注意！
 ジャンパの向きに注意して下さい。
 型番表示側が、内側（写真では反対側）に入れてください。

3. 工具を引き抜く



ジャンパが確実にクランプされているか、軽くひっぱり確認して下さい。

これで、ジャンパ取り付け作業は完了です。

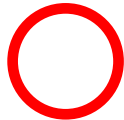
■ ジャンパ取り付け後の結線注意事項

1. ドライバを端子台のロットに深く差し込み、電線挿入口を開く。

この時ジャンパ専用工具は使用しないこと。

結線作業は前述の「電線の接続」を参照してください。

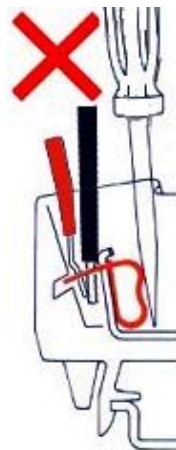
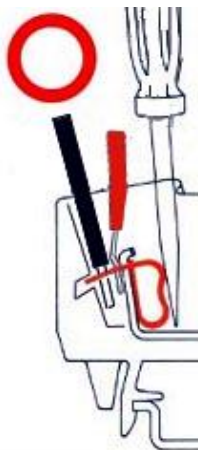
(結線可能な最大電線サイズは 1.5mm² /AWG16 になります。)



ドライバを使用し 1 本ずつ結線する事。1 本ずつ作業すればジャンパは外れる事なく正しい結線が行える。

ジャンパ専用工具を使用すると、ジャンパが外れたり、間違った箇所に電線を挿入してしまう為、結線作業時には使用しないこと。

● 電線挿入位置の確認



正しい結線状態。
電線はジャンパより端子台外側に挿入されている。

誤った結線状態。
電線はジャンパより端子台内側に挿入されている。

誤った結線をした場合、電線の引抜き力が低下し、不具合が発生する可能性があります。